

事務事業チェックシート

事務事業No **694** 事業名 **展示資料充実事業**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		博物館費	
	大事業 事項		博物館事業 展示資料充実事業	

[長期総合計画]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	1	文化遺産の保護・継承
基本方針	2	文化遺産の公開・活用

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	博物館	額田 雅裕(423-0003)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	地元教育の推進			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		事業内容					
事業概要	展示及び調査研究に役立てるために、博物館資料の充実を図り、和歌山の歴史に関する資料の蒐集を図ることによって、関係資料の市外流失を防ぎ、市民の財産として確保し、市民文化の向上に寄与する。		資料購入予算を有効に活用して、博物館資料の購入を行うとともに、広く寄贈を促すことによって、博物館資料の充実を図る。なお、博物館資料は、市民共有財産となるだけでなく、調査研究の対象として、学芸員によって扱われた後、その成果に基づいて展示に供されることとなる。				
	実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
館蔵資料の充実を図り、展示及び調査研究に役立てる。		館蔵資料の充実を図り、展示及び調査研究に役立てる。	館蔵資料の充実を図り、展示及び調査研究に役立てる。	館蔵資料の充実を図り、展示及び調査研究に役立てる。	館蔵資料の充実を図り、展示及び調査研究に役立てる。		

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,070	1,859	2,200	2,157	2,000	2,000	2,200		2,200	
伸び率 (%)	-	-	6.3%		-9.1%		10.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	2,942	3,647	3,647	2,997	2,997	2,579	3,647	3,647	
	非常勤職員	477	472	472	671	671	468	472	472	
	小計	3,374	4,119	4,119	3,668	3,668	3,047	4,119	4,119	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他						187				
一般財源（税等）	2,070	1,859	2,200	2,157	2,000	1,813	2,200		2,200	
所要人数	常勤職員	0.39	0.49	0.39	0.40	0.39	0.36	0.49	0.49	
	非常勤職員	0.24	0.24	0.28	0.28	0.28	0.24	0.24	0.24	
主な予算内訳	展示資料の購入									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	単位	年度目標値							
		実績値							
	全体目標値	年度別達成度							
		実績値							
成果指標	購入資料件数	年度目標値			10	10	10	10	10
		実績値			7	4	3		
	単位	年度別達成度			70.0%	40.0%	30.0%		
		実績値			10	10	10	10	10
寄贈件数	年度別達成度			300.0%	360.0%	610.0%			
	実績値			30	36	61			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	調査研究に必要な資料の購入はある程度購入はできているのが現状であるが、本市の博物館に所蔵すべき資料や物件の中には、高額なものも多く、資料充実を進めることにより、より充実した展覧会の開催を行えると考える。
「見直し」「改善」案	